

東洋大学長 殿  
To the President of Toyo University

外国人研究員 研究報告書  
Research Report by Visiting Researcher

氏名 Name	徐 輝
所属大学名・職名（身分） Affiliation and position	温州大学外国語学院 准教授
研究課題名 Research topic	日本における浙江戯曲伝播研究
研究期間 Research period	2024年7月15日～2024年8月10日 From Y/M/D to Y/M/D
研究協力教員氏名（所属） Research partner (affiliation)	荒川 雪 （社会学部）
研究成果発表 （予定も含む） Publication/Presentation (including future ones)	日本における浙江戯曲伝播研究（発表予定）
研究成果の概要 Summary of your research achievements	本論文は関連文献および現地調査に基づき、浙江省戯曲が日本華僑華人コミュニティ及び日本社会で伝播されている現状、問題を明らかにする。まず、これまでの研究成果を踏まえ、本研究の目的・意義を提示する。そして、在日華僑華人の現状と浙江省の戯曲の華僑華人コミュニティでの伝播の現状を理解し、問題点を探求する。さらに、問題点に対する対応策を提示する。
研究の詳細(600～800字) Detailed Research Report (600-800 words)	今回の調査の結果によると、浙江戯曲は日本で一定の発展と伝播があるが、在日華僑華人団体、華僑華人個人及び華僑学校からの重視と関心はまだ得られていないし、中国戯曲を研究している日本人学者および戯曲出演者以外にも、一般の日本人および在日華僑華人の中国戯曲に対する理解はそれほど多くない。本論文詳細の内容は以下の通りである。第一、序文。主に本論文の研究背景、先行文献、目的と意義を説明する。第二に、研究方法。本論文は先行文献に基づき、主に在日華僑華人コミュニティ、華僑学校及び関連する日本関東地区の大学および研究機関を訪問し、聞き取り調査を実施した。調査対象は在日華僑華人団体、華僑華人戯曲家、華僑学校および日本関東地区にある大学（例えば、東洋大学、明治大学、中央大学など）、研究機関である。第三に、日本における浙江戯曲伝播の現状と問題点。実地調査を通じて、在日華僑華人及び社団の現状を理解し、華僑華人集団における浙江戯曲の発展、伝播などの問題を理解する。例えば、在日華僑華人及び華僑団体の現状、浙江省戯曲伝播における在日華僑華人コミュニティおよび華僑華人個人の役割、認識、存在の問題、華僑華人学校には戯曲に関する授業があるかどうかなどについて検討する。第四に、日本学者の戯曲研究。日本関東地区の大学および研究機関を訪問し、日本研究者からの視点からみる日本における浙江戯曲伝播の現状及び問題点などことについて検討する。第五に、日本における浙江戯曲伝播に関する提案。以上の調査から出てきた問題と結びつけ、将来の浙江戯曲の日本での伝播案を提出する。